



Vol. 50

Pegasus News

ペガサスニュース

発行人 馬場武彦
発行 社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
http://www.pegasus.or.jp/
編集 ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力 HIPコーポレーション
発行 / 平成23年4月1日

HEADLINE



介護療養型老人保健施設
エクウス

ペガサスでは、「介護療養型老人保健施設エクウス」を平成23年8月に開設します。「エクウス」は、和泉市にはじめて誕生する介護療養型老人保健施設で、平成21年に開設した「介護療養型老人保健施設ベルセウス」と同じ在宅支援施設となります。既存の介護療養型病床や介護老人保健施設とは異なり、「医療」と「介護」を線引きすることなく、利用者さまに必要なサービスを提供し在宅復帰を支援します。患者さまの退院後の在宅復帰や次の施設入居までの「通過施設」として、和泉市を中心とした、病院、診療所、介護施設などと協力し、地域のご高齢者の健康を全力で支えます。

介護療養型老人 保健施設とは

平成20年5月の介護保険法改正により、介護療養型医療施設を廃止・削減される療養病床の転換先として位置し、医療サービスの充実が特徴。

「介護療養型老人保健施設エクウス」では、医師をはじめ各職種の専門スタッフによる適切な医学的管理のもと、日常生活の看護・介護はもちろん、リハビリテーションスタッフを厚く配置し、在宅復帰をサポート。病状が安定し、病院での入院治療は必要ないが、たんの吸引が必要な方や、胃ろうにより栄養を摂っている方など、看護や介護などのケアが必要な方にご利用いただけます。さらに自宅療養中の方の体調調整、気分転換、介護される方の負担軽減のためのシイートステイも積極的に行っていきます。今後ともペガサスでは、救急、急性期から回復期、在宅まで切れ目ない医療サービスを提供するために、「ずっと患者さまを支え続ける」挑戦をし続けてまいります。



理事長 馬場武彦

去る2月5日（土）、リーガロイヤルホテル堺4階ロイヤルホールにて、第34回馬場記念病院勉強会、第12回登録医集会・懇親会を開催いたしました。今回も、お忙しいなか、多数の登録医の先生方にご参加いただきました。勉強会では、理事長 馬場武彦の挨拶の後、馬場記念病院における最新の症例や治療法を各診療科部長が紹介。循環器科 山下啓医師の「当院での侵襲的治療について」橈骨動脈アプローチによるPCIから始まり、上肢・手外科 釜野雅行医師の「橈骨遠位端骨折の治療」、脳神経外科 魏秀復医師の「脳神経外科における新しい検査／手術器具の紹介」、最後にリハビリテーション科 西尾俊嗣医師の「地域連携パスの運用報告」をご説明しました。



勉強会に続いて、登録医集会では、当院の実績報告や、脳卒中・消化器の両センターの始動、社会福祉法人「風の馬」設立について紹介をいたしました。その後に行われた懇親会では、登録医の先生方と馬場記念病院医師との間で活発な意見交換が行われ、大変有意義なひとときを過ごすことができました。今日の地域医療においては、診療所と病院の連携は不可欠です。当院では登録医の先生方との強い信頼関係に基づいた医療連携をめざし、こうした機会を今後も継続して行っていく予定です。

Report *1

安心の在宅支援サービス。 介護療養型老人保健施設 エクウスが誕生します。

和泉市の高齢者を
支える新しい在宅支援
施設が8月に開設。

手厚い看護、介護、
リハビリテーションを提供し
在宅復帰をサポート。

Report *2

地域の皆さまへ、さらなる質の高い医療を。 第34回馬場記念病院勉強会、 第12回登録医集会・懇親会を開催

最新の治療法や医療器具を
ご紹介。当院へのご理解を
深めていただきました。

先生方との信頼関係を
さらに強め、質の高い医療を
地域の皆さまに提供します。

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成23年4月1日現在

	診療時間	診療科		月	火	水	木	金	土
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1 診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	平田明子 (内科)	坂本常守 (循環器)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週／第2・4週 (ともに循環器)
			2 診	平山道彦 (循環器)	永田光里 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	棚野吉弘 (呼吸器)	玉垣学也／棚野吉弘 第2・4週／第1・3・5週 (ともに呼吸器)	
		外科 消化器科	外・消1 診	金原 功	坂下克也	豊川貴弘	金原 功	寺岡 均	福岡達成 第1・3週
			外・消2 診	原 順一	寺岡 均	真下勝行	坂下克也 (胃ろう外来)	平田直人	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3 診		河内屋友宏		原 順一		北田拓也 (肝臓病)
		脳神経 外科	脳外科1 診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2 診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明	
			脳外科3 診	長岡慎太郎	甲斐康稔	松尾吉紘	松尾吉紘	甲斐康稔	
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1 診	高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	平賀定一	濱田征宏
			(脳)神経内科2 診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進／平賀定一 第1・3週／第2・4・5週	長谷川隆典	
			(脳)神経内科3 診					金田明子	
		整形外科	整形外科1 診	本田良宣	山北真也	本田良宣	本田良宣	山北真也	交替制
			整形外科2 診	篠塚宗徹	岡垣健太郎	篠塚宗徹	吉野信之	岡垣健太郎	岡田充弘 第1・3週
			整形外科3 診	釜野雅行					庄司恭之 第1または、第3週(腎性)
	形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英／矢野 基 交替制	
	午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科					坂本常守 (循環器)		
							玉垣芳則／若山公作 第2・4週／第1・3・5週 (在宅酸素)		
		(脳)神経内科			北口正孝		北口正孝		
					池尻義隆 第2・4週		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)		
		整形外科		岡垣健太郎(関節の外来)	釜野雅行 (手の外来)		装具外来 (14:00～14:30)		
			山北真也 装具外来(14:00～14:30)						
泌尿器科			野澤昌弘		清水信貴(予約検査) 梅川 徹(診察のみ)	辻 秀憲			
馬場病院	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	内科外来	久保俊彰	交替制	新田敦範 (外科)		千本裕子 (脳神経内科)	交替制	
		外科外来	担当医(脳神経外科) 新田敦範(外科)	本田良宣 (整形外科)	担当医 (脳神経外科)	山本喜英	北口正孝 (脳神経内科)		
	午後診 15:00～18:00 受付14:30～18:00		担当医 (内科)	交替制	新田敦範	新田敦範	久保俊彰		
ペガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1 診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週	
		2 診	宇治義正	戸田千綾	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週	
		3 診		担当医					
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00	1 診	永田安德	矢野 基	宇治義正	宇治義正	担当医		
2 診		担当医	担当医	担当医	担当医	永田安德			
ペガロイヤルリブ	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00		中林孝之	交替制	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	
	午後診		往診	往診	往診	往診	往診		



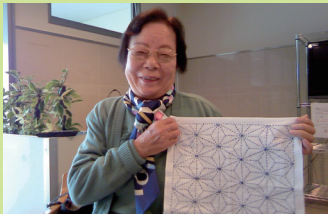
社会医療法人
ペガサス

ペガサスロイヤルリゾート石津

からのお知らせ

「バリアフリー2011」に作品を出品します。

第17 17回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展「バリアフリー2011」(インテックス大阪にて開催)、ペガサスロイヤルリゾート石津ご入居者3名の作品を出品することになりました。写真は現在94歳の武藤さん。当施設で開催されている教室では、個性豊かな作品をいくつも生み出しています。開催期間は4月14日(木)～16日(土)。ぜひ足を運んでください。



4月23日 ホームヘルパー2級養成講座開講!

講師は、第一線で活躍中の専門家!

- 募集定員** 40名(受講申し込みおよび受講料金確認順)
- 募集期間** 5月中旬まで(定員になり次第受付終了)
- 受講料** ¥69,800(テキスト代、実習費、消費税込み)
- 学習期間** 3カ月～
- 内容** 通信自宅学習／土・日中心の実技講座／平日の現場実習

■お申し込み・お問い合わせ／株式会社ユニコ

TEL 072-263-3001(事務局直通:090-6987-4358)

E-mail yousei_unico@docomo.ne.jp

詳細はユニコホームページで→<http://www.osaka.zaq.jp/unico/index.html>

ご存じですか!

ペガサス脳卒中センター ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、脳神経外科の医師とコメディカルとのブレインチームによる「脳卒中センター」、また、外科と消化器科とのチームによる「消化器センター」を設置し、高度な専門治療の提供を行っています。

4月のペガサスセミナーは、

「手の痛みやしびれ」について

講師：釜野雅行

馬場記念病院 上肢・手外科 部長

日時：4月26日(火) 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階 ロビー

法人本部からお伝えしたいことがあります。

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン開催!

毎回好評の看護学生対象のペガサス医療体験デイ 就活バージョン。病棟施設や看護師寮の見学、各種制度説明などを予定しています。看護師をめざす皆さん、どうぞお気軽にご参加ください!

開催日 5月21日(土)

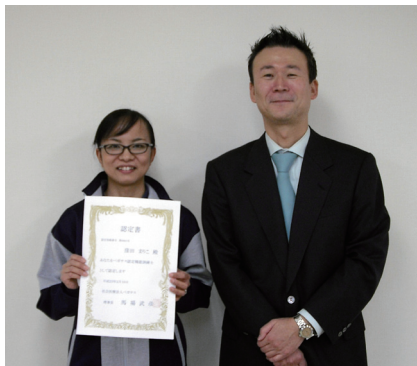
受付時間 12:30～



※詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。<http://www.pegasus.or.jp/>

新たにペガサス認定機能訓練士が誕生。

ペガサスでは、各職員が専門職以外の知識・技術を持つことで、人材の質、そしてグループ全体の質を高め、ひいては患者さまに満足度の高い医療サービスを提供するという考えから、独自の認定資格を設けています。その一つが、「ペガサス認定機能訓練士」。試験対象者は理学療法士・作業療法士、言語聴覚士以外の職員で、機能訓練に従事する(可能性がある)人です。試験は難関で、1月に行われた第3回目となる試験には16名が挑戦し、リハビリテーション病院 ペガサスデイケアセンターの介護職員 窪田まりこ、1名のみの合格でした。ペガサスでは今後も継続して試験を実施し、より質の高い機能訓練を患者さまに提供して行きます。



社会福祉法人 風の馬からのお知らせ

地域福祉向上のための第一歩。
ペガサス保育園が開園しました。

4月1日にペガサス保育園の入園式を行いました。同園に入園する0歳から5歳までの100名以上の子どもたちと保護者の方々がホールに集まり、にぎやかなスタートとなりました。社会福祉法人 風の馬では、「輝く笑顔が未来に続く子どもを育成する」を保育方針に、子どもたちの健やかな成長に尽力していきます。



S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
15

リハビリテーション部

単なる機能回復訓練ではなく、
患者さまの「その後の人生」を
見つめたサポートを行います。

ません。また、理学療法や作業療法、言語聴覚療法での機能回復訓練によって、病気や外傷前の状態を、完全に取り戻すことができるとはいえません。患者さま個々に、どこまで回復するかという予測を立て、そのゴールに向けて、機能回復や維持のための訓練を続け、残存能力でいかに快適に生活していくことができるか、そのために必要な環境はどうかを考える。一方で、患者さまご自身やご家族に、障害を容認していただけるようサポートを行う。こうした一連の活動のすべてがリハビリテーションです。

100名近い体制を整え、 多職種とも連携・共同

当院では、主に脳神経外科・整形外科の患者さまを対象とし、超急性期から急性期、回復期のリハビリテーションをご提供。法人全体では、維持期、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションまで、一貫し



主任 中野俊明(理学療法士)



主任 堤 真子(理学療法士)

た体制を整えています。リハビリテーション部のスタッフ数は100名近くを数えます。医師の指示に基づき、リハビリテーション総合実施計画書を作成(毎月更新)。発症もない時期から社会復帰に至る道筋を見つめ、必要に応じて看護師、臨床心理士、医療福祉相談員等、複数の専門職とチームを組み、連携・共同して評価と治療を行います。

理学療法 基本的な動作能力の 回復を図る

理学療法は、基本的な動作能力の回復を図っていくものです。確実なリスク管理のもとに行う発症まもない超急性期から始まり、関節の可動域運動、筋力増強運動といった運動療法、立ち座りや歩く動作の反復練習、介助物品を用いた動作獲得、そして、疼痛の緩和や筋肉などの軟部組織を柔らかくする温熱・寒冷・

牽引・電気による物理療法など、三つの療法・訓練により基本的動作能力の改善を促していきます。

作業療法 生活に必要な動作を獲得

作業療法は、日常生活全般に必要な動作の獲得をめざしていくものです。患者さまが生活していくための問題を評価し、日常生活における諸動作、生活全般に関わる諸活動を用いて治療・訓練を行います。また、障害を持ちながらも残存機能を最大限に活用し、食事や排泄、入浴といった身辺動作、料理や掃除などの家事動作、さらには仕事への復帰をめざした訓練も実施。生活しやすいように指導・援助も行います。

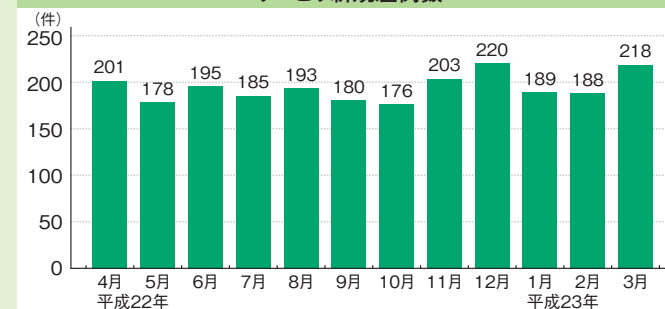
言語聴覚療法 コミュニケーション能力、 摂食・嚥下の力を改善

言語聴覚療法は、聞く・話



主任 前田亜矢(作業療法士)

リハビリ新規症例数



すといったコミュニケーション能力、食べる・飲むなど生きるための基本行為の機能回復をめざしたものです。どこに障害があるのかを正しく評価し、その原因にアプローチしていきます。患者さま個々には言語訓練や構音訓練、認知リハビリテーションなど、個別プログラムにより訓練、助言を実施。摂食・嚥下訓練では医師の指示のもとで嚥下造影検査を行うなど、安全に食事ができるよう関わります。

馬場記念病院
リハビリテーション部